

【タイトル】 A E Dを使用した心肺蘇生法講習  
公益事業委員会

【日 時】平成 26 年 3 月 18 日

【場 所】法人会館

【概 要】

最近、心肺停止症例が多くみうけられることから、A E Dを使用して、心肺蘇生を試みる講習会が、3月18日（火）に法人会館において10名が参加して行われた。

講師にはN P O 法人大阪ライフサポート協会認定インストラクターの宮垣氏を迎え、心肺停止者に遭遇した時の119番通報から人工呼吸、胸骨圧迫（心臓マッサージ）、電気ショック（A E D）までの一連の流れを講習した。



講師の宮垣氏



プロジェクターでAEDの重要性を説明

まず、宮垣氏から心肺停止が一般市民により目撃された症例は、年間で2万3千件強。そのうちA E Dを使用しなかった場合の救命率は6.2%、A E Dを使用した場合の救命率は38.9%などと説明されA E Dの重要性を説いた。

その後、宮垣氏の指導により実際に参加者が人形を使って、人工呼吸、胸骨圧迫、A E Dを使用して電気ショックを行った。



ショックが必要かは自動で判断するのでまず装着



みんなで交代して心臓マッサージ

この間、宮垣氏はこの流れを一人で行うのは無理なので、必ず通行人等多くの人に声をかけ、119番通報、A E Dの調達（最寄りの官公庁等に常備してある）、そして救急車が到着するまでは交代で心臓マッサージを行うことが重要と説いた。